

二葉園平成30年度事業計画

<平成29年度を振り返って>

平成29年度は、対前年に比して収入は増加したが、それを上回る経費増加により大幅な減収となった。

収入では、入所の稼働は対前年並みの98.3%であったが、介護度のアップにより収入増となった。通所デイケアについてはほぼ季節的な変動がなく平均利用者が安定的に推移したことにより収益増加となった。また9月より開始したリハビリ特化型デイケアも収入増加要因となった。

一方、経費面では燃費高騰による光熱費の増加の他、特に人件費が大幅な増加となり収支を圧迫させる要因となった。原因としては施設長の交代や介護職、看護師の退職、休職が多数あったことから、コストの高い派遣職員の雇用や人材紹介料などが増加したものである。またリハビリ特化型デイケアオープンに伴う先行的な職員雇用も要因となっている。リハビリ特化型デイケアについてはご利用者が増加しつつあるが、29年度末では採算ラインには届いていない。

<平成30年度の課題>

平成30年度介護報酬改定により、通所デイケアで約15百万の減収が見込まれる。よって加算項目をきめ細かく取ることでカバーする必要がある。また29年度にオープンしたリハビリ特化型デイケアのご利用者を増加させることで減収分をカバーし増収につなげることが重要課題となる。

経費面では、職員の定着率を高め、人材紹介料を削減するとともに、きめ細かく無駄を省くべく常に見直しを行なって行くものとする。

介護業界での職員採用状況は相当厳しくなって来ており、将来を見据えて外国人労働者の受け入れを予定している。

職員の満足度を高める施策として、29年度にリゾート会員権を取得したが、今年度より連続休暇制度をスタートさせたい。

<ご利用者の満足度を高めるために>

平成29年度ではレクリエーション委員会を中心にして各種イベントを数多く実施し楽しんでいただいた。お花見や買い物レクなど外出の機会を多く設け、バイキングやお鍋パーティの実施などの工夫を行なって来たが、一日を過ごすうえでより充実した生活を送っていただけるように、さらに努力が必要である。ご利用者満足度を常に意識することで、真心からのおもてなしを感じていただけるように努める。

<平成30年度目標計数>

平成30年度収支予算書

収 入	501,000,000 円
費 用	468,340,000 円
サービス活動外収支	-2,509,000 円
収支差額	30,151,000 円

<今後のデイケア>

利用者のニーズが多様化している。

リハビリを受けて日常の生活動作を維持向上させたいが、長時間は行きたくない層をターゲットに3年前より午前中のデイケアをスタートした。また昨年9月からはリハビリに特化したデイケア(フィットネス二葉)を開設した。30年度には本館を終日利用者、別館1階を短時間デイケアの午前利用者・午後利用者専用にし、2階でリハビリ特化型を運営することで利用者のニーズにマッチした施設運営を効率的に行なって行きたい。

<隣接地の有効活用>

平成28年度に取得した隣接地の有効活用を検討して来たが、いよいよ具体的な方向性を決定し、30年度には建築にまで着手したい。

職員の定着、採用にも貢献すると思われる企業主導型保育所の設置等を検討している。